

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動学習支援教室ふれんず山王教室(放課後等デイ)			
○保護者評価実施期間	2026年 2月 2日		～	2026年 2月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数)	18名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 2日		～	2026年 2月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 18日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動から学習の流れに重きを置いた療育を実施している	<ul style="list-style-type: none"> ・運動療育では粗大運動/微細運動やルールのある遊び、勝ち負けのある遊び等を通して身体を動かしたり、競争の結果を受容する活動を行っている ・学習療育では運動からの切り替えを通して落ち着いて机に向かったり、機能訓練を行ったりしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に合わせて不得意なことを克服できるよう運動の遊びや学習のプログラムを調整している
2	理学療法士、言語聴覚士等より専門的な支援が可能な職員が在籍している。	<ul style="list-style-type: none"> ・個別に不得意なことを見極め、ゲームや個別の支援を通して克服できるよう専門的な支援を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・該当資格を持つ職員だけでなく、職員全体で療育に繋がる活動を調べ、実践している ・該当資格を持つ職員から他職員に研修を行っている
3	屋外で行うイベントがある	<ul style="list-style-type: none"> ・海や公共施設で活動するプログラムを実施し、自然や教室の職員以外の大人と関わり合う機会を設けている 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に配慮しつつ、引き続き継続していく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士、きょうだい同士で交流する機会が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・働いている保護者の方も多いため、時間を合わせて交流の場を設けることが困難 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント開催時にきょうだい児への周知を引き続きしていく ・ニーズがあれば都度保護者交流の場を設けていく
2	災害対応の訓練の周知が不十分	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に避難訓練やマニュアルの共有、研修は行っているが、保護者の方に周知されていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施記録や活動の様子をHUG(出席アプリ)やSNS等でより発信していく
3			